

令和7年度【後期】田之筋小学校 学校評価（考察）

学校評価アンケートに御協力いただきありがとうございました。結果及び考察、御意見への対応等について取りまとめましたので、御覧ください。今後とも本校教育活動への御理解・御協力をお願いいたします。

経営の重点	番号	経営の目標	対象	肯定率%	前期比	評定	考 察
校訓について	★	「まごころいっぱい しあわせいっぱい」を意識した教育活動	教員	100	± 0	A 99.1	「まごころいっぱい しあわせいっぱい」という目指す学校像が、学校内外に広く共有されている。この価値観を今後も大切に育みたい。
			児童	98.9	△1.2		
			保護者	98.4	△0.1		
確かな学力の定着・向上と学習習慣の確立	1	分かる授業	教員	100	△ 10	A 97.2	校内研修や研究授業の充実を図り、デジタルとアナログのベストミックスを意識した授業改善に取り組んだ。また、ICTを活用したドリル学習や放課後の補充学習に加え、家庭での学習の見届けや声掛け等の協力も得ながら、基礎・基本の定着や学力の底上げを図った。こうした取組が、「学力向上」「家庭学習」の肯定的な評価につながった。
			児童	96.6	▼2.2		
			保護者	95.1	△0.1		
	2	学力向上	教員	100	± 0	A 93.6	「分かった」という実感の持てる授業の実現や、家庭と連携した読書活動の推進が引き続き課題である。今後も授業改善や指導の工夫を継続するとともに、家庭での学習・読書習慣が一層定着するよう、親子読書（うちどく）を含めた継続的な支援をお願いしたい。
			児童	95.5	△3.6		
			保護者	85.5	△3.5		
	3	家庭学習	教員	100	± 0	↑ A 90.8	全教員による教育相談やスクールカウンセラーの活用、一人一人を認める温かい言葉掛け等に取り組んだ。一人一人を尊重する関わりを継続し、問題の早期発見・早期対応に努めるとともに、児童が更に相談しやすい環境を整えていく。
			児童	90.9	△0.2		
			保護者	81.5	△3.4		
	4	読書活動	教員	90.0	± 0	B 80.0	一方で、児童の「あいさつ」の肯定率は、やや低下した。まずは教職員も含めて「先取り挨拶」を実践し、活気ある学校を目指したい。また、「目的意識」も児童・保護者ともに前期を下回った。大きな行事が終わり、目標を立てる場面が減ったことも考えられる。目指す児童像につながる大事な項目であるので、家庭と一緒に連携し、目的を持って努力する態度を育てたい。
			児童	88.6	△1.4		
			保護者	61.3	▼2.8		
個性を伸ばし自己教育力を高める教育	5	あいさつ	教員	100	△ 10	↑ A 92.4	全教員による教育相談やスクールカウンセラーの活用、一人一人を認める温かい言葉掛け等に取り組んだ。一人一人を尊重する関わりを継続し、問題の早期発見・早期対応に努めるとともに、児童が更に相談しやすい環境を整えていく。
			児童	90.9	▼3.3		
			保護者	86.2	△2.1		
	6	目的意識	教員	100	± 0	↓ B 89.0	一方で、児童の「あいさつ」の肯定率は、やや低下した。まずは教職員も含めて「先取り挨拶」を実践し、活気ある学校を目指したい。また、「目的意識」も児童・保護者ともに前期を下回った。大きな行事が終わり、目標を立てる場面が減ったことも考えられる。目指す児童像につながる大事な項目であるので、家庭と一緒に連携し、目的を持って努力する態度を育てたい。
			児童	93.2	▼2.1		
			保護者	73.8	▼4.0		
	7	個人の尊重	教員	100	± 0	A 98.5	教員も含めて「先取り挨拶」を実践し、活気ある学校を目指したい。また、「目的意識」も児童・保護者ともに前期を下回った。大きな行事が終わり、目標を立てる場面が減ったことも考えられる。目指す児童像につながる大事な項目であるので、家庭と一緒に連携し、目的を持って努力する態度を育てたい。
			児童	98.9	△2.4		
			保護者	96.7	△5.0		
豊かな感性とたくましく生きる力	8	教育相談	教員	100	± 0	A 97.0	教員も含めて「先取り挨拶」を実践し、活気ある学校を目指したい。また、「目的意識」も児童・保護者ともに前期を下回った。大きな行事が終わり、目標を立てる場面が減ったことも考えられる。目指す児童像につながる大事な項目であるので、家庭と一緒に連携し、目的を持って努力する態度を育てたい。
			児童	97.7	▼1.1		
			保護者	93.2	△1.5		
	9	思いやり・生命尊重	教員	100	± 0	A 98.1	「思いやり・生命尊重」「自分の命を守る力」「体力づくり」で、児童・保護者ともに肯定率が向上した。目指す学校像を重視した教育活動や、放課後の陸上練習、朝マラソン等の継続的な取組、「プラスワンの改善」を加えた実践的な避難訓練の成果が現れている。
			児童	98.9	△1.2		
			保護者	95.3	△0.1		
	10	生活習慣	教員	100	± 0	A 93.9	歯みがき指導や食育、生活習慣の改善について指導を充実させたが、数値に反映されていない。また、運動に積極的な児童と、機会が少ない児童との二極化も懸念する。学習や活動の成果を家庭での実践につなげるため、情報発信や連携を一層強化し、引き続き各家庭の協力を得ながら、望ましい生活・運動習慣の確立を目指したい。
			児童	95.5	▼1.0		
			保護者	86.2	▼4.1		
	11	自分の命を守る力	教員	100	± 0	A 95.8	教員も含めて「先取り挨拶」を実践し、活気ある学校を目指したい。また、「目的意識」も児童・保護者ともに前期を下回った。大きな行事が終わり、目標を立てる場面が減ったことも考えられる。目指す児童像につながる大事な項目であるので、家庭と一緒に連携し、目的を持って努力する態度を育てたい。
			児童	100	△2.3		
			保護者	87.3	△0.2		
	12	体力づくり	教員	100	± 0	A 93.5	教員も含めて「先取り挨拶」を実践し、活気ある学校を目指したい。また、「目的意識」も児童・保護者ともに前期を下回った。大きな行事が終わり、目標を立てる場面が減ったことも考えられる。目指す児童像につながる大事な項目であるので、家庭と一緒に連携し、目的を持って努力する態度を育てたい。
			児童	94.3	△1.3		
			保護者	86.2	△1.0		

家庭・地域との連携・協力	13	家庭・地域との連携	教員	100	± 0	A	ホームページや「すぐーる」、学校便りや各種メディアを活用し、効果的な情報の提供・発信に努めた。地域と連携したふれあい広場やしめ縄づくり等の活動を充実させ、その様子も積極的に紹介できた。今後も学級通信等を通じて、日常的な学級の様子や児童の成長の歩みなどを定期的に伝えていく。	
			保護者	100	△ 3. 1	100.0		
	14	家庭・地域への情報発信	教員	90.0	± 0	A		
			保護者	100	△ 3. 2	95.0		
教職員の専門性と人間性	15	職責と心構え	教員	100	± 0	A	教職員の職責を自覚し、個々の児童に寄り添う丁寧な対応や教育環境の向上に努めた。児童と向き合う時間の確保や超過勤務の削減に向け、ICT活用による校務の効率化やスクールサポートスタッフの活用を一層進める。併せて会議の精選や事務の簡略化を推進し、ワーク・ライフ・バランスの充実に努める。	
	16	業務改善	教員	100	△ 10	A	100.0	

肯定率は、回答でA（よく当てはまる）又はB（やや当てはまる）を選んだ割合です。肯定率の平均が90%以上を評定A、80%台を評定B、70%台を評定C、それ以下を評定Dで評価しています。

【保護者からの御意見と対応等】 ○本校の取組でよい点 ●改善してほしい点 ※対応等

- 学校の行事や他学年・先生との関わりを楽しみにしている。それぞれの個性を否定せず接してくださるの
で、子供はうれしそうにしている。少し苦手と思う授業も楽しめているようだ。
- どちらかというと、先生に相談しやすい。
- 子供の悩みを職員全体で共有し、保護者や子供からの相談に親身に対応している。子供が楽しく学校生活
を送れており、とてもよい学校環境だと思う。
- 子供同士のトラブルがあったとき、双方の話を聞き、話し合いの機会を作ってもらっている。
- 地域と密着した活動やつながりを大切にされていることで、子供たちも地域により愛着を感じることがで
きていると思う。
- 緑の少年団や放課後子ども教室など、外部の機関と連携した特色ある行事に取り組んでいただき、保護者
としてもありがたく、助かっている。
- 朝マラソンや奉仕活動、「よみっこ」など、季節に応じて充実した朝活動を行っている。
- クラスみんなで取り組む楽器演奏や、頑張りを全校や保護者に見てもらう「まごころ集会」は、子供たち
の大きな励みになっている。
- 「ラッキータイム」や「たのべん」といった田之筋小学校独自の素敵な取組があり、新しい企画を色々と
考えていただけるおかげで、子供たちに楽しみがある。
- 学校で本を読む機会を多く作ってもらえることで、家でも子供が本を読んでいるのがよい。
- 写真が多く見やすいホームページを毎日更新していただいているので、学校での様子がよく分かる。保護者
として大変うれしいので、ぜひ続けてほしいです。
- 校長先生のお話は、短くて分かりやすくてよい◎です！！
- 改善点はありません。これからも田之筋小らしさがあればいいと思います。

● 給食を「早く食べなさい」という声掛けが気になる。

※ 「よく噛んで時間内に食べる」指導をしていますが、献立の好みや気分で手が止まり、時間を要する場合
があります。安全面に配慮しながら、無理なく食べ進められるよう適切に声掛けを行っているところです。

● 宿題が自主学習や音読等に偏り、授業プリントの持ち帰りもないため、子供の学力に不安を感じている。

※ 学習内容の定着状況をテストやプリントで把握しながら授業を進めています。その状況を家庭と共有しな
がら、学力の定着を目指していきます。学習に関わらず、心配な点は、学級担任までお知らせください。

● すぐーる配信や子供の伝言だけでは伝わらない場合もあるので、補充学習等は、書面で確認してほしい。

※ 案内文書やアンケート等は、デジタル配信を推進しています。「すぐーる」の発信が増え、重要度の判断
が難しい場合もあるかと思いますので、タイトルや本文を工夫し、注意を促すよう気を付けていきます。

● 運動会で児童が困る場面では、手を差し伸べるか、差し伸べる必要がないよう配慮や指導をしてほしい。

※ 具体的な内容が分からぬのですが、誰もが安心して取り組める競技内容にしていきます。指導者の配慮
不足があったと思われます。全職員で柔軟に対応できるようにしていきます。

● 負担の大きい「たのべん」はやめるか、家庭環境に配慮し長期休暇中の課題とする等の改善を望みます。

※ 昨年度から年4回に減らし、個人のスキルに合わせて実施しています。コンテスト目的ではなく、食育や
家庭科学習の一環として進めていますが、御家庭の率直な意見を参考に次年度の計画を立てていきます。